

1 計画の策定にあたって

1-1 計画策定の背景

鳴門市の公共交通は、神戸淡路鳴門自動車道などの高速道路網が整備され、高速バス輸送が進展しているほか、市内の公共交通としては、主要なバス路線として鳴門市営バス、徳島バス(株)が運行し、また、鉄道輸送ではJR四国の鳴門線及び高德線が市内に乗り入れている。さらには、一部島しょ部における交通手段として市営による渡船事業を民間委託により運行している。

こうした中で鳴門市営バスは、市民の公共交通機関として重要な役割を果たしてきたが、自家用車の普及などにより利用者は毎年減少しており、経営改善の観点から事業規模を縮小するなど経費の削減を図っているものの、多額の累積赤字を抱えており、事業の維持存続が非常に困難な状況となっている。

こうしたことから、鳴門市では、平成19年11月に「鳴門市地域公共交通会議」を設置し、市内の公共交通の現状及び鳴門市営バスの経営状況などについてご理解を頂きながら、翌20年1月に示された「鳴門市における公共交通の基本的考え方」を踏まえ、利用実績や公平性の観点から、鳴門市営バスの3路線について、路線再編による新たな運行計画により平成21年1月から民間委託による「地域バス」の実証運行を開始している。

今後においても、公共交通は市民の日常生活はもとより、地域間交流の拡大や観光振興など、本市のまちづくりを進める上においてもその果たす役割は極めて大きい。多様化する利用者ニーズに対応できる新しい公共交通体系の構築が求められていることから、各輸送モードにおける事業者間の連携をはじめ、鳴門市営バス路線の新たな運行形態や公共交通施設整備などの検討が重要な課題となっている。

1-2 計画策定の目的

社会環境の変化や多様化する市民ニーズに対応できる公共交通体系を確立するため、路線の維持が困難となっている鳴門市営バスの路線再編に向けた基本的方向性を示し、市営有償運送などの導入による民間活力の活用を進めるほか、観光など市外からの来訪者に対する公共交通のアクセス向上策を検討し、新しい市内公共交通体系の構築に向けた鳴門市地域公共交通総合連携計画を策定する。